

2026 年度事業計画書

株式会社仙台天文サービス

1 マネジメント業務

(1) 業務目的

施設のミッション推進，組織力強化，人事人材管理の実施。

(2) 業務内容

①SPC 調整会議

仙台天文サービス構成企業間で，現場レベルでの調整が必要な事項について打合せを行う。

○月に 1 度開催。

②ガバナンス会議の運用

台内の所属会社の違う部署間の調整を適宜行う。

○台長・副台長（運営マネジャー）・ヘルプデスク・維持管理マネジャーの構成員が発議をした際に開催。

③コアスタッフ会議の運用

運営担当企業内の運営方針管理及び情報共有・問題点の洗い出しを行う。

○台内会議日およびコアスタッフが発議した際に開催。

④台内会議の運用

スタッフ間で予定の確認及び活動の振返りを行い，維持管理・運営の質を担保する。

○月に 1 度開催。

⑤全体会議の運用

運営担当企業のスタッフで，運営内容の確認や改善の方向性を確認する。

○月に 1 度開催（台内会議日）。

⑥総務会議，企画交流会議の運用

総務係及び企画・交流係の担当部署毎に，運営内容の確認や改善の方向性の確認及び研修等を行う。

○それぞれ月に 1 度開催

⑦週末会議の運用

土曜日から翌週の金曜日までの予定についてスタッフ間で共有をする。

○毎週金曜日に開催。

⑧朝礼の運用

当日の予定等や確認事項についてスタッフ間で共有をする。

○開館日の開館前に開催。

⑨セルフモニタリング及びヒアリング

契約書に基づき，維持管理・運営業務に関わる要求水準を履行しているかのセルフモニタリングを行う。
またその報告に対する仙台市のヒアリングに対応する。

○双方，月に 1 度の提出と対応。

⑩中長期計画の策定

運営要求水準書に基づき，施設ミッション達成のための中期計画を策定する。また，中期計画策定時に

長期計画の見直しを行う。

○2026-2028 年度の長期計画および中期計画の運用

⑪年間事業計画の策定

指定管理者協定に基づき中期計画に即した年間計画を策定する。

○毎年策定し，前年度 3 月中に仙台市に提出する。

⑫予定管理

見通しを持った維持管理・運営を行うために，年間予定を策定する。

○前年度の 1 月末までに大枠を決定する。

⑬予算管理

構成企業毎に，適宜予算の管理を行う。

⑭個人情報の管理

年に 1 度研修を行うとともに，「個人情報取扱特記事項」に基づき常時管理を行う。

⑮スタッフ研修

スタッフのスキルアップ研修を台の内外にて実施し，スタッフ間で共有する。

⑯マニュアル作成（標準化）

業務マニュアル（標準書及び要素技術一覧）を作成し，業務の標準化を図る。

⑰勤怠管理

出勤予定表及び週予定表を作成し，スタッフの勤務計画を立て，それに基づいた管理を行う。出勤予定表は前年度までに策定。週予定表は前月までに策定。変更については随時更新。

⑱週計画作成

勤怠及び交番を明確にするために，週毎の予定表を作成する。週予定表は，前月までに策定する。

⑲アルバイト管理及びシフト管理

アルバイトのシフト調整，勤怠管理を行う。シフト調整及び勤怠管理とも月に 1 度行う。

また，勤務調整は適宜行う。

⑳福利厚生（雇用・会社福利厚生関係）

スタッフの雇用や福利厚生の対応をする。

㉑オーナーサポーター運営・管理

天文台を資金・物資の面でサポートしてくださる企業及び個人を募り，その資金等を運用する。

○随時募集を行い，物品については都度活用を行う。

○資金は主に市民に還元できる内容への活用を図り，その結果を出資者に報告する。

㉒学会等関連団体への加盟と連携

学会や関係団体に加盟するとともに，研修及び情報発信を行う。

○加盟団体は以下のとおり

日本天文学会，日本博物館協会，全国科学博物館協議会，全国科学館連携協議会，天文教育普及

研究会，日本公開天文台協会，日本プラネタリウム協議会，宮城県博物館等連絡協議会，仙台・宮城ミュージアムアライアンス

㉓ 諸団体との連携協定の管理

大学，研究団体，社会教育施設，天文愛好家等と連携協定を結び，その管理を行う。

㉔ アンケートの計画，実施および分析

来館者にアンケートを依頼し，業務改善の一助とする。

- 天文台へのロイヤリティを測るアンケート（NPS）
- 天文台学習に関わるアンケート（通年）
- 各業務の個別アンケート（適宜実施）

㉕ 危機管理

自治体のガイドラインや危機管理マニュアルに基づき対応する。

㉖ 台長業務

- 職員の統括，人材育成，研修
- 各種会議（関係者協議会・事業推進部会・維持管理運営分科会，SPC 取締役会，SPC 部会，SPC 調整会議，台内会議，ガバナンス会議）参加
- 各種企画・交流業務補助等
- 各種専門学会等への参加
- 防火管理者担当
- セルフモニタリング承認
- 各種渉外業務

2 活用促進業務

(1) 業務目的

宇宙への興味・関心が薄い層に様々な切り口で天文台の魅力を発信し，施設の活用を促す。

(2) 業務内容

① VI の管理と活用

ブランドデザインガイドに従い VI を管理・活用することで，ブランド価値の向上を図る。

② 天文台まつり

天文台の開台を記念し，毎年 2 月に「天文台まつり」としてイベントを開催する。

- 2026 年度は 2027 年 2 月 6 日（土），2 月 7（日）に開催

③ 多様化するニーズへの対応

- 受付やプラネタリウムにおける多言語対応
- 自販機や展示物への点字貼付による視覚障害者対応

④ サタ☆スタ

天体観望会とともに，土曜の夜ならではのイベントを実施し，賑わいを創出する。

期間	時間	タイトル	場所	内容
通年	17:00-17:45	トワイライトサロン (無料)	オープンスペース	名誉台長による宇宙が身近になる話
	18:00-18:45	プラネタリウム投映 (「星と音楽の時間」等)	プラネタリウム	一般向けの投映
	19:00-19:20	星まちタイム (無料)	天文プラザ他	天体観望会の観望天体についてご案内
	19:30-21:30	天体観望会	ひとみ望遠鏡観測室	ひとみ望遠鏡による天体観察
	19:40-	ナイトプラネタリウム	プラネタリウム	独自事業による投映

⑤施設活用イベント

アーティストや市民と宇宙をテーマにしたイベントを実施。また、貸館的な施設活用のひとつとしてユニークベニユーを実施する。

月	日	曜	時間	タイトル	出演者	場所	内容
4	11	土	19:40 20:30	仙台市天文台×愛子天 空の湯そよぎの杜 期 間限定コラボ企画！ 癒しの UNI×BATH (ユニバース)	－	プラネタリウム	愛子天空の湯そよぎの杜 とのコラボイベントの実 施。プラネタリウムは 「Star Light Healing Malama Hawaii」を投 映。
	18						
	25						
6	6	土	11:30 12:00	ベビープラネタリウム	－	プラネタリウム	乳幼児とその保護者を対 象にしたプラネタリウム の実施
9	5						
12	5						
3	6						
5月下旬 8月19日				七夕イベント装飾活動	－	オープンスペー ス	仙台七夕や伝統的七夕な どに関わる館内装飾を行 う
未定				希望の星 展示会 『「触れてみませんか。 宇宙のロマンに。」—視 覚に障害のある私たち の宇宙の楽しみ方—』	希望の星	オープンスペー ス	視覚に障害のある方々が どのように宇宙を見てい るのかを展示や WS, 制 作物販売を通して知って いただく展示会

10	4	日	13:50 14:20	ポリネシアンダンス 2026	Marainoa	オープンスペ ース	星や月に関するポリネシ アンスの披露
10	10	土	11:30 19:00	STAR & TRAIN 星と月 と 鉄 道 と ～ GO BEYOND～	描き鉄集 団「ロコ」 他	加藤・小坂ホー ル他	被災地の鉄道の復興の節 目と星空をテーマとした 絵画等の作品展示や、鉄 道模型走行会、軌陸車の 展示、ミニライブなどを 行う。また 10/1016:00- 17:00 にプラネタリウム で震災・鉄道・星に関する 投映も行う
	11	日	10:00 15:00				
11	23	月・ 休	未定	天文台de描き鉄展のク ロージングイベント	描き鉄集 団「ロコ」	オープンスペ ース	天文台 de 描き鉄展のク ロージングイベントとし て、榊原光裕氏のミニラ イブ&トークショーを行 う
11月下旬 12月25日				クリスマスイベント装 飾活動	—	オープンスペ ース, プラネタリ ウム	クリスマスツリーの館内 装飾を行う
不定期				スターライト ウェデ ィング (フォトウェデ ィング)	リア・フ ィーユ(錦 ヶ丘アー リー迎賓 館)	プラネタリウム	プラネタリウムの貸館的 事業としてフォトウェデ ィングを行う

⑥記念事業

入館者達成式典や東日本大震災追悼イベント等の記念事業を実施する。

○プラネタリウム震災特別番組の投映および全国配給

投映日	時間	タイトル	内容
通年 毎月第1土曜	19:40－	星よりも、遠くへ	震災の星空と被災者たちとの繋がりを描いた「星空 とともに」の第二章となる、プラネタリウム版ドキ ュメンタリー作品。
3/11	13:50－		

⑦商品開発

仙台市天文台のオリジナルグッズやコラボ製品を開発する。

⑧売店業者との調整

施設ミッションと顧客ニーズを意識した店づくりを推進する。

○ミュージアムショップ

・施設ミッションや運営内容を意識した新商品の開拓やオリジナル商品の開発

○そらカフェ

・顧客ニーズや施設運営に合わせた販売商品の展開

3 観測・研究業務

(1) 業務目的

市民の観測技術の向上を図る活動を行い、天文学に深く関わる人材を育成する。更には、関係機関と連携し、その成果を公開することで天文学の発展に寄与する。

(2) 業務内容

①天文台スタッフ観測

○天文台スタッフが観測研究テーマに基づく観測研究活動を行い、その結果を公開する。

②市民観測員育成講習（観測提案講習，教員研修等）

ひとみ望遠鏡の操作方法の習得も含め、教員等指導者の養成・研修目的も兼ねた観測を年 1 回以上実施する。また、市民等が独自に観測活動を行えるようになることを目標とした講座を実施する。今年度は実際の観測を通して市民観測員として必要な技術のレクチャーを行う。

○小中教員研修会での望遠鏡操作講習（年 1 回，8 月 3 日）

○市民観測員育成研修 ※対象者がいた場合に実施

③公募共同観測

ひとみ望遠鏡を活用した観測研究テーマに基づく観測提案を公募する。観測提案書の書類審査により、共同観測として観測提案に基づく観測研究活動を行う。

○三か月ごとに公募

④市民観測員観測

ひとみ望遠鏡の操作方法について天文台職員と同等の技術を習得し、天文台の望遠鏡活用指針に基づいた観測ができる市民を市民観測員として認定し、観測提案書の書類審査により、提案した観測テーマに関して、単独で観測研究活動を行う。

○該当者からのプロポーザル提出があれば実施

⑤大学・関係機関との共同観測，連携観測

新天体の発見観測の確認作業や追跡作業，貴重な天体現象等の連携観測，大学等からの共同観測・研究の依頼があった場合は，台内で観測内容，観測期間，使用観測機器等を検討し，可能な範囲で協力する。

○環境省「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」（年 2 回）

○国内外で発見される新天体の確認観測・追跡観測（随時）

○国内外の，大学や天文台等の天文学関係機関が行う天体観測活動への協力（随時）

⑥ひとみ望遠鏡体験観測，天文学者体験観測

天体観測に関心の高い市民が観測技術や天文学の知識の程度に応じて技術向上等を図れるよう、研修を目的とした観測を年2回以上実施する。

○観測技術向上を図るための研修目的の観測（年2回）

・東北大学地学専攻と共同で、限定した中高生を対象にひとみ望遠鏡を使った集中的な研究観測体験を実施(3月または7-8月の予定)

・天文台独自で実施する体験観測プログラムの開発（短周期変光星の測光観測による光度曲線作成）

⑦観測以外の研究支援

大学・研究機関や市民を対象として、「天文」や「天文台」に関係したテーマでの研究を公募し、市民の研究活動を支援する。

○随時募集し、プロポーザル提出があった場合に実施

⑧研究・実践紀要作成

年度毎に研究や実践についての報告を行う。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
4		10	天体ごとに 設定	スタッフ観測 ・かんむり座T星の分光観測	・増光が予想されている再帰新星T Crbの分光観測を行い、スペクトルの変化を見る
6		12		スタッフ観測 ・はくちょう座X-1の質量調査 はくちょう座Xのスペクトル変化	・はくちょう座X-1の分光観測からX-1の質量を求められるかを調査する ・X Cygの分光観測から、スペクトルの変化を見る
10		12		スタッフ観測 ・系外惑星オシリスの検出可能性の調査	・ひとみ望遠鏡を用いて、系外惑星をトランジット法で観測できるかどうかを調査する観測を行う
5		9		スタッフ観測 ・短周期変光星の測光観測による光度曲線の取得(仮)	・観測技術向上を図るための研修目的の観測実施に向けたデータ取得
7-8月、1-2月の新月頃			薄明終了後の2時間	関係機関との連携観測 ・デジタルカメラによる夜空の明るさ調査	デジタルカメラを用いて空の明るさの調査を行う
7または8			9:00 12:30	小中教員研修会での望遠鏡操作講習（任意参加）	小中学校の教員を対象としたひとみ望遠鏡操作の実習

3 または 7-8	18:00 20:00	東北大学地学専攻×仙台市天文台 研究観測体験講座（名称仮）	中高生を対象にしたひとみ望遠鏡を使った集中的な研究観測体験（東北大学地学専攻と共同実施）
随時		公募共同観測	随時募集
随時		市民観測員観測	公募共同観測応募者の中から審査のうえ認定
随時		関係機関との共同、連携観測	依頼があった場合に対応
随時		観測以外の研究支援	依頼があった場合に対応

4 教育支援業務

4-1 学校教育業務

(1) 業務目的

様々な市民を対象として、それぞれに合った手法や内容で、学校教育で学習する天文分野の内容の理解が深まるよう支援する。

(2) 業務内容

① 幼児天文台学習

幼稚園・保育所を対象にプラネタリウム投映，展示室見学，ひとみ望遠鏡見学を行う。

○目標値

132 団体(2025 年度実績)

○渉外

- ・（2026 年度分）案内文書発送：2026 年 2 月初め
- ・（2026 年度分）予約開始：市内 2026 年 2 月末，市外 2026 年 3 月初め

○プラネタリウム投映

○望遠鏡見学

② 小学校天文台学習

学習指導要領に基づき，小学 4 年生と 6 年生を対象に学習プログラムを用意し，展示室・プラネタリウム・望遠鏡を用いた天文台学習を行う。

○目標値

194 校(2025 年度実績)

○渉外

- ・（2026 年度分）案内文書発送 2026 年 3 月初め
- ・（2026 年度分）予約開始：市内・市外共に 2026 年 3 月末
- ・打合せ（各学校にて事前に天文台ウェブサイト上の打合せ資料を閲覧）
- ・新学習指導要領に基づいた各学習投映プログラムの検討

○プラネタリウム投映

- ・小学 4 年生向け
- ・小学 6 年生向け

○望遠鏡見学

③中学校天文台学習

仙台市内の中学生を対象に、学習指導要領に基づいた天文台学習（悉皆）を実施する。

○目標値

74 校（2025 年度実績）

○渉外

- ・（2026 年度分）案内文書発送：2025 年 12 月中旬
- ・（2026 年度分）日程調整：2026 年 1 月中旬まで
- ・（2026 年度分）天文台科学館学習合同説明会：2026 年 2 月末
- ・中学校天文台学習の改訂プログラム作成・実施

○プラネタリウム投映

○望遠鏡学習

④その他の天文台学習

高等学校や特別支援学校などを対象に、天文台学習を行う。

- ・聴覚支援学校（小・中学部）
- ・視覚支援学校（中学部）
- ・拓桃支援学校（小・中学部）
- ・人來田中学校 旗立分教室
- ・仙台向山高校
- ・インターナショナルスクール

⑤学習配布物作成

子どもが楽しく天文知識を習得できるように学習配布物を作成する。

- ・天文台学習のしおり（小学 4 年生・小学 6 年生・中学生）の作成

⑥学校団体受入

学校団体の来館に際し、受入れ担当を配置し、安全かつ円滑に館内での移動やスケジュールが進められるようにする。

- ・安全に集合や移動ができるように配慮する。

⑦学校連携

学校現場と連携し、施設の活性化と学校教育における理科教育の充実と発展をさせる。

- ・連携授業（市内小学校・中学校との連携を検討）

⑧小中学校教員養成講習

市内小中学校教諭を対象に天文に関する基礎講義、学校における天文学習、屈折望遠鏡の使い方等の

研修会を行う。

- ・ 8 月 3 日実施（教育センター主催）

⑨教科研究会への参加

教科研究会に参加し、天文台学習に関する情報提供や理科教育に関する情報収集を行う。

- ・ 例年 6 月に実施

4-2 生涯学習支援業務

(1) 業務目的

○天体観察や天文学の普及啓発への関心が高い市民が、各々の興味や特技を活かした活動を提案・実践できるように支援する。

○仕事としての天文普及活動に興味・関心がある方を対象に、知識・技能等に応じた実践的な経験・訓練を積む機会を提供することで人材育成に寄与し、博物館の役割を果たす。

(2) 業務内容

①スタッフサポーター養成講座

初心者を対象として天文台の活動をスタッフの一員として支援していただくスタッフサポーターを新規に養成する講座を開催する。

○活動に必要な知識や技術の基礎に関して、8 月から 3 月までの毎月 1 回、第 4 土曜日に実施（全 8 回）。初回参加必須、8 回中 6 回以上の受講で終了認定。

<スタッフサポーター養成講座>

	月	日	曜	時間	内容
第 1 回	8	22	土	14:00-16:00	開講式 天文台で大切にしていること（講話） コミュニケーショントレーニング（実習）
第 2 回	9	26	土	14:00-16:00	スタッフサポーターの活動紹介（講話） 天体観察の基礎知識①（講話）
第 3 回	10	24	土	14:00-16:00	天体観察の基礎知識②（講話）
第 4 回	11	28	土	14:00-16:00	展示解説（講話・展示見学・実習）
第 5 回	12	26	土	14:00-16:30	天文台学習支援（講話・実習）
第 6 回	1	23	土	14:00-16:00	天体望遠鏡の種類と特徴（講話・望遠鏡見学）
第 7 回	2	27	土	14:00-16:00	天体望遠鏡の使い方（講話・実習）
第 8 回	3	27	土	14:00-16:00	ワークショップ（講話・ワークショップ体験） 閉講式 スタッフサポーター登録手続

②スタッフサポーター管理・運営

養成講座を終了しスタッフの一員としてサポート活動を希望する市民に登録いただく。

【個人】サポーター養成講座を終了した個人が、年間登録をし、1年更新となる。

【団体】活動内容に合わせた研修を受けた団体が、年間登録をし、1年更新となる。

③スタッフサポーターミーティング・学習会

個人スタッフサポーターについては、毎月ミーティングを行い、各自の活動の計画を立てたり、サポーター同士が交流したりする機会を設ける。また、スタッフが話題を提供し、天文台学習の展示学習のサポートのための研修やお客様とのコミュニケーションに関わる学習会等を行う。

<スタッフサポーターミーティング>

	月	日	曜	時間	内容
第1回	4	11	土	15:00-16:30	5月の計画 サポート研修（概要、各サポート活動）
第2回	5	9	土	15:00-16:30	6月の計画 サポート研修（非常時対応）
第3回	6	14	日	15:00-16:30	7月の計画 サポート研修（展示解説）
第4回	7	11	土	15:00-16:30	8月の計画 サポート研修（移動天文台サポート）
第5回	8	8	土	15:00-16:30	9月の計画 サポート研修（天文台学習）
第6回	9	12	土	15:00-16:30	10月の計画 スタッフからの話題提供
第7回	10	18	日	15:00-16:30	11月の計画 サポート研修（望遠鏡組み立て研修）
第8回	11	14	土	15:00-16:30	12月の計画 活動の振り返り 新規スタッフとの交流（自己紹介／話題提供）
第9回	12	12	土	15:00-16:30	1月の計画 天文台まつり準備
第10回	1	16	土	15:00-16:30	2月の計画 天文台まつり準備 スタッフからの話題提供
第11回	2	14	日	15:00-16:30	3月の計画 サポート研修（望遠鏡組み立て研修）

第 12 回	3	13	土	15:00-16:30	4 月の計画 顕彰（4 期生, 9 期生, 13 期生） スタッフサポーター継続登録手続
--------	---	----	---	-------------	--

④天文愛好家の活動支援

○活動場所の支援

事前に申請のあった天文愛好者へ学習室等を貸し出す。

○活動の場の支援

写真展や天体観望会など、天文愛好家としての活動の場を提供する。

⑤社会教育支援

○インターンシップ（随時）

希望があった場合、随時調整を行う。

○職場体験（随時）

希望があった場合、随時調整を行う。

○博物館実習（下記日程で実施）

【実施期間】8 月 17 日-23 日

【受入予定人数】数名程度

○その他

上記に該当しない項目での依頼があった場合、随時調整を行う。

⑥各種市民団体との連携

連携協定団体と協働事業を実施する。

○仙台天文同好会

- | | | |
|------------------|-------------|--------|
| ・サタ☆スタ時（月 1 回程度） | 18:00-20:30 | 天体観望会 |
| ・GW 期間の 1 日 | 10:00-15:00 | 太陽を見る会 |
| ・1-2 月 | 開館中 | 天体写真展 |

○天文ボランティアうちゅうせん

- ・依頼観望会のオファー

5 天文普及業務

5-1 展示業務

(1) 業務目的

様々な観測や天文に関する科学情報を分かりやすく編集・加工し表現する。また、宇宙に関する多様なテーマで市民と交流し天文への理解を深める。

(2) 業務内容

①展示交流

天文台スタッフと来場者が「天文を通じた交流」の中で理解を深めることができるよう公開時は展示室内に担当を配置し、定款的にコミュニケーション活動の機会を設ける。

②展示ツアー

土・日・祝日にテーマを決めて展示を活用した解説を行う。

③ワークショップ

天文台や宇宙との距離を身近に感じてもらうインタラクティブな普及活動として、以下のワークショップを開催する。

<ワークショップ>

月	日	曜	時間	タイトル	内容
毎月 第3日曜日 ※11月のみ第 4週に開催 (悪天候時は 延期なし)			14:45 15:15	太陽のとおり道を たどろう！～アナ レンマのふしぎ～	継続的に同時刻の太陽の軌跡をたどると見えてくる形 を日時計に記録します。刻印時刻 15:00 ※悪天候時は翌週へ延期
4	25	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	春の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加とともに 展示用立体模型をつくります。
7	25	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	夏の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加とともに 展示用立体模型をつくります。
10	24	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	秋の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加とともに 展示用立体模型をつくります。
1	23	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	冬の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加とともに 展示用立体模型をつくります。
毎月第1土曜日 10:50-11:20				うちゅうの“ぐる ぐる”み～つけ た！	天体の動きの法則性の1つである「まわる（回転）」 を実際に体感しながら楽しく学びます。
5/9, 7/11, 9/12, 11/14, 1/16, 3/20 14:40-15:40				“石”のひみつにせ まろう！	なぜ地球に隕石があるのか、隕石はどこからやってく るのかを、隕石と地上の岩石とを比較しながら考えま す。

4/18, 6/20, 8/22, 10/17, 12/19, 2/20 14:40-15:20	太陽について調べよう	太陽表面に見られる黒点をスケッチしてグラフにし、太陽活動の特徴について調べます。
--	------------	--

④展示情報端末の運用

取得した天文情報を来館者に分かりやすいように加工や解説を加えて、展示室内の情報端末にて公開する。

⑤企画展

期間を限定して常設展示以外のテーマ等を扱う下記の企画展を行う。

○自主企画展（随時）

天文をより身近に感じてもらうため、天文以外のテーマと天文を結びつけ、興味関心の間口を広げる。

○誘致企画展（随時対応）

加盟の全科協、連携協等の巡回展を利用し、天文に関する興味関心を喚起するような企画展を開催する。

○企画展示コーナー

・連携協定団体である東北大学理学研究科に協力いただき、最新の地球及び天文研究に関する情報を展示する。また、国立天文台水沢観測所、JAXA 角田宇宙センターの研究の成果や観測情報を展示する。

・7－8月：「深宇宙展」連携展示

・9－10月：お月見（中秋の名月＋後の月）

・10－12月：伊達政宗と天文学

・1－3月：火星（小接近）

○プレショーギャラリー展示

市民や社会教育施設とのコラボ企画の実施や天文愛好家の活動紹介など市民の天文への関心を高める場として以下の展示を行う。また、プラネタリウム出入口では入る前の期待感を高めたり投映に関連した内容を紹介したりしながら、星空やプラネタリウムへの関心を深める。

＜企画展＞				
開催期間	タイトル	場所	内容	協力等
4/2 6/4	写真展 マルモリ・ナイト 2026 — 丸森町の星空に魅せられて —	プレショー ギャラリー	天体写真愛好家小檜山氏による天体写真展	小檜山裕行
6/8 6/28	佐藤佳奈作品展 ～そらとのあいだ～	プレショー ギャラリー	仙台在住アーティストによる天文・宇宙をテーマにした日本画の原画展	佐藤佳奈

7月初旬 8/3	野草園×天文台コラボ企画展（仮）	プレショー ギャラリー	仙台市野草園による写真展	仙台市野草園
8/5 9/6	uwabami 原画展	プレショー ギャラリー	uwabami による原画展	uwabami
9/8 10/12	吉田ももこ原画展	プレショー ギャラリー	仙台出身のアーティストによる星空 絵画作品展	吉田ももこ
10/18 11/22	描き鉄集団口コ 原画展	プレショー ギャラリー	描き鉄集団口コによる原画展	描き鉄集団口コ
11/24 12/27	東北大学天文同好 会天体写真展「星 彩の一写」	プレショー ギャラリー	東北大学天文同好会による天体写真 展	東北大学天文同 好会
1 2	仙 台 天 文 同 好 会 天体写真展	プレショー ギャラリー	仙台天文同好会のみなさんによる天 体写真展	仙台天文同好会
3/2 3/31	震災特別展示創作 神話「そらのくじ ら」原画展	プレショー ギャラリー	創作神話「そらのくじら」の原画展	くどうひろこ
通年	プラネタリウムギ ャラリー	入口）・現在のプラネタリウム番組情報 ・今後のプラネタリウムイベント情報 ・プラネタリウム関連のポスター展示 出口）・今後のプラネタリウム番組情報		

5-2 プラネタリウム運営業務

(1) 業務目的

プラネタリウムの空間や機能を活用し、様々な世代の市民がそれぞれの興味・関心や天文学の知識レベルに応じて、わかりやすく宇宙・天文について学べる機会を提供する。

(2) 業務内容

① 星空の時間の企画・投映

今夜の星空とそれにかかわる天文の話題の紹介により、星の美しさや探し方など多様な楽しみ方を伝え、日常的に星空を見上げるようになってもらうことを目的とする。

放映期間	平日	土・日・祝日・ 学校休業期間	タイトル	内容
4月 5月	14:30 の回 16:00 の回	10:00 の回 13:00 の回 16:00 の回	今夜の星空散歩	今夜、仙台から見える天体や星座を紹介する。 とりあげる星座や天文の話題はスタッフによって異なる。
6月 9月25日	14:30 の回	10:00 の回 13:00 の回		
9月26日 9月29日	14:30 の回 16:00 の回	10:00 の回 13:00 の回 16:00 の回		
10月 3月	16:00 の回	10:00 の回 13:00 の回 16:00 の回		

②天文の時間の企画・放映

宇宙の謎に対する科学のアプローチを伝えることで、天文学のより深い世界へ足を踏み入れてもらうことを目的とする。2026 年度は新規で 1 本を制作し放映する。土・日・祝日・学校休業期間の 14:30 の回で放映を行う。

放映期間	タイトル	内容
4-6 月	銀河	日本やチリの空に見えている銀河と天の川を観察し、「天の川が銀河系の姿であること」「私たちが銀河系の中にいること」「南天で銀河中心の観測が盛んであること」等を紹介する。

③こどもの時間の企画・放映

幼児（4 歳）から小学校 2 年生までの子どもとその家族を対象とし、星の世界に入り込み宇宙のふしぎを感じ取る体験を通し、星や宇宙に魅力を感じる子どもを増やすことを目的とする。土・日・祝日・学校休業期間の 11:30 の回で放映を行う。

放映期間	放映日	タイトル	内容
4月 6月	土・日・祝日・ 学校休業期間	プラネくんとあそぼう！	遊びの天才「プラネくん」と一緒に星や宇宙とふれあいながら、宇宙の「なぜ？」を紹介する。
7月 12月	土曜日		
1月	土・日・祝日・		

3月	学校休業期間	
----	--------	--

④星と音楽の時間の企画・投映

音楽ファンを対象とし、日常にある音楽と星や宇宙とのつながりを示し、宇宙への興味を喚起することを目的とする。土曜日の18:00の回で投映を行う。

投映期間	タイトル	内容
4-5月	VOYAGE ～音楽と巡る、人と星の航路～	「人と星のつながりをたどる旅」をコンセプトに、星空や宇宙をテーマとした楽曲を届ける。探査機ボイジャーを軸に、大航海時代の南天への旅やファンタジー作品の宇宙旅行にも触れる。
6-9月	星座が奏でるピアノの調べ	88という星座数と鍵盤数の一致に着目し、ピアノを中心とした楽曲を流しながら、星座を紹介する。
10-11月	月ノ歌 -MOON SONGS-	音楽のモチーフとして取り上げられることの多い月について、楽曲を通して文化的・科学的理解を図る。
12-1月	リクエスト特集 ～星空の下で聴きたい音楽～	市民から寄せられた星空と音楽のリクエストに応える。夏頃から募集開始予定。
2-3月	音楽が繋ぐ星と鉱物（いし）	宝石への見立て、星座神話における鉱石、隕石、超新星爆発による重元素生成など多角的な視点から星と鉱物の関係を紹介し、併せてそれらをタイトルや歌詞に持つ楽曲を取り上げる。

⑤その他の投映の企画・投映

①～④のどの時間枠にも属さない、市民ニーズに対応した多様なプログラムを実施する。

投映期間	タイトル	内容
11:30の回		
7-12月 日・祝日・ 学校休業期間	イナズマデリバリー バイザウェイの 地球探査?!	大好評を博した「イナズマデリバリー」のシリーズ第2弾として、「オーロラ」をテーマに制作されたプラネタリウム番組。オーロラの発生原理や太陽活動が地球に及ぼす影響を、オリジナルストーリーを通して分かりやすく解説する。子どもから大人まで家族で楽しめる内容とし、絵本のような世界観に加え、実写のオーロラ映像も取り入れている。
14:30の回		

7-9月 土・日・祝日・ 学校休業期間	(深宇宙展連携投映) MMX 火星衛星探査	MMX ミッションは、「はやぶさ」「はやぶさ2」で培われた技術を継承し、火星衛星フォボスへの着陸およびサンプルリターンを目指す意欲的な宇宙探査計画である。本作では、ミッションの概要紹介にとどまらず、「はやぶさ2」によるリュウグウ試料の解析成果や、人類と宇宙の関わりを含めた広い視点から宇宙探査の意義を描いている。あわせて、MMX 探査機に加え、「のぞみ」「あかつき」「はやぶさ2」、さらに次世代基幹ロケット「H3」も取り上げる。
2-3月		
10-1月	100年の永遠 —プラネタリウムが映す 星空への想い	太古から人類が抱き続けてきた「星空への想い」。それは、学問や哲学、自然科学や技術的な進歩など、人類の文明の歴史に深い影響を与えてきました。その歴史の中で人類が生み出した偉大な発明品の一つが、プラネタリウムです。誕生から100年を超える近代的な投映式プラネタリウムは、「星空への想い」の集大成とも言えます。 これは、過去から未来へと永遠に続く、人類が星空とつむぐ果てしない物語です。
16:00の回		
6月 8月19日	特別投映「七夕」	七夕、仙台七夕まつり、伝統的七夕の時期に合わせて、七夕の楽しみ方を紹介する。
8月20日 9月25日	特別投映「中秋の名月」	中秋の名月に向けて、名月の楽しみ方を紹介する。

⑥ナイトプラネタリウムの企画・投映

土曜の夜の「サタ☆スタ」の時間内に、プラネタリウムの機能や空間を活かした、様々なジャンルの映像作品を特別料金体系で実施する。

⑦障害者のための企画・投映

視覚障害者でも「星空の時間」の投映を楽しめるよう、星座の点図・点字を配備する。また、聴覚障害者でも「星空の時間」の投映を楽しめるよう、音声認識・自動翻訳アプリによる生解説のリアルタイム文字起こしを提供する。

⑧投映補助

投映中のお客様の安全を確保し、快適に過ごせるよう配慮する。投映補助者をプラネタリウム内に1名配置する。

⑨案内・誘導

プラネタリウム利用者（特に配慮が必要な利用者）を安全かつスムーズに案内する。

5-3 望遠鏡業務

(1) 業務目的

○主としてひとみ望遠鏡を使用して、風習や見頃、世間の注目に応じた様々な天体・現象を観察できる機会を提供することで、市民の宇宙・天文に対する興味・関心を引き出すとともに、天文知識向上に寄与する。

○ひとみ望遠鏡の見学機会を設け、望遠鏡の構造や仕組み、能力、観測方法等を説明し、天体観望への興味・関心を喚起させる。

○天体観測への興味・関心が高い市民を対象に市民観察室望遠鏡を貸与することで、天文学の普及振興に寄与する。

○観測機材等の貸出しにより、天体観望会を開催する市民及び教員等を支援する。

(2) 業務内容

①定期観望会

毎週土曜日にひとみ望遠鏡を使用した天体観望会を実施する。年間 51 回。

月	主な観望天体
4	木星,アルギエバ,M35（散開星団）
5	春の1等星,ミザール,M3（球状星団）
6	春の1等星,コル・カロリ,M3（球状星団）
7	夏の1等星,ラスアルゲティ,M13（球状星団）
8	夏の1等星,アルビレオ,M13（球状星団）
9	夏の1等星,アルビレオ,M15（球状星団）
10	土星,海王星,M31（アンドロメダ銀河）
11	土星,天王星,海王星
12	土星,天王星,海王星
1	冬の1等星,天王星,M42（オリオン星雲）
2	火星,木星,天王星
3	火星,木星,アルギエバ

②昼間の観望会

ひとみ望遠鏡を使用して昼間に観察可能な天体の観望会を東北文化の日および天文台まつりの昼間に実施する。

③その他の天体観望会

ひとみ望遠鏡や移動天文車ベガ号を必要としない天文現象について観望会を開催する。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
8	12	水	19:30 22:00	特別観察会「ペルセウス座流星群をみよう!!」	惑星広場でペルセウス座流星群の観察会を行う

④ひとみ望遠鏡案内

ひとみ望遠鏡を動かしながら、特長や性能を紹介する。

平日は 15:30 の 1 回、土日祝日は 11:00,12:30,14:00,15:30 の計 4 回実施する。

⑤インターネット望遠鏡の活用

市民がインターネットを通じて大型望遠鏡等の観測機器を利用し、天体を観察できるようにする。利用日は、学校長期休業期間など児童・生徒も視聴しやすい日をあらかじめ設定・周知し、利用促進を図る。

- ・大型望遠鏡付属機器によるリアルタイム天体動画配信

実施時期：学校夏期休業期間中の土曜日（19:30－21:30）

実施方法：大型望遠鏡付属の 15cm 屈折望遠鏡にカメラを接続し YouTube でライブ配信

配信内容：天体観望会の観望天体

想定対象：児童・生徒に限定せず、広く市民が視聴可能

⑥観測機材等の館外貸出し

天体観望会を開催する市民及び教員等のために、観測機材の貸出しを行う。そのための貸出日の日程調整と予約の受付を行う。また返却時に確認を行い、機器の点検も実施する。必要に応じて清掃、調整等を行う。

- ・清掃、調整清掃、調整は 6 月 18 日、10 月 15 日、3 月 18 日の年 3 回実施。

⑦観察室の貸出・管理

○観察室貸出

- ・観察室の貸出日を設定し、貸出しを行う。
- ・毎週土曜日の貸出日、それ以外の毎月2回の貸出日、及び小中高校生優先利用日の年間85日を設定する。
- ・土曜日以外の貸出日は新月前後に設定し、画像取得を目的とする利用者にも配慮する。
- ・小中高生優先利用日は学校長期休業期間中の7、8月の10日間を設定する。（7月21日から8月3日までの金曜日、土曜日を除いた計10日間）

○ライセンス講習会

望遠鏡利用のための資格取得講習会（ライセンス講習会）を実施する。

○ユーザーズミーティング

望遠鏡操作に関する注意事項の確認と望遠鏡利用者同士の情報交換の場、及びライセンス更新の機会として、望遠鏡利用者連絡会（ユーザーズミーティング）を開催する。なお、ユーザーからの要望により平日の開催を 1 回行なう。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
6	5	金	19:00 20:00	第1回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
9	6	日	19:00 20:00	第2回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
11	23	月・祝	15:00 17:30	ライセンスA講習会	新規利用者への望遠鏡利用のための資格取得講習会を行う。
12	6	日	19:00 20:00	第3回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
12	13	日	16:30 19:00	ライセンスB講習会	ライセンスAを持ったユーザーに対する冷却CCDの利用資格取得講習会を行う。
3	7	日	19:00 20:00	第4回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。

⑧初心者のための望遠鏡講座

天体望遠鏡を使用してみたい市民に対して、望遠鏡の仕組みや操作を学んでもらう講習会を実施する。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
7	18	土	16:00 18:00	はじめての望遠鏡教室 ～My 望遠鏡を作ろう～	望遠鏡による天体観察に興味を持つ市民を対象とした講座。市販の望遠鏡キットの組立てと操作練習を行う。
7	25				
8	1				
9	19	土	15:00 17:00	天体望遠鏡教室 ～初心者編～	市販の望遠鏡を入手したばかりの方や購入を検討されている方を対象に、経緯台式の望遠鏡の組立てと操作練習を行う。
9	20	日			
10	17	土	14:00 17:00	天体望遠鏡教室 ～上級者編～	本格的な天体観察・撮影に興味がある方を対象に、赤道儀式望遠鏡の組立てと操作練習を行う。

5-4 アウトリーチ業務

(1) 業務目的

施設内に留まらず、施設外の多くの市民の日常に天文体験の機会を提供する。

(2) 業務内容

①講師派遣

職員に対して、市内外を問わず関係機関や他の団体から講演会等の講師の依頼がある際には、他の業務に支障がない範囲で応じる。また、市内及び市近郊の小中学校・高等学校等からの依頼があった場合も同様に対応する。

②定期移動観望会

金曜日を中心に移動天文車ベガ号を仙台市内各所及び近郊に派遣し、ベガ号積載の 20cm クーデ式望遠鏡及び小型望遠鏡で天体観望会を実施する。天体を観測できない時には、星空の話や天文クイズ、ワークショップ等の天文教室を開催する。市内公園への出動の際は、より多くの市民に天文体験の機会を提供するため、WEB サイトや SNS で内容告知を行う。

月	日	曜	開催場所
4	24	金	やまいちサステナパーク七北田公園
5	1	金	錦町公園
	8	金	木町通市民センター
	15	金	杜の広場公園
	22	金	海岸公園冒険広場
	29	金	西公園
7	3	金	榴岡公園
	10	金	折立市民センター
	17	金	山田市民センター
8	27	木	仙台市野草園
	28	金	西公園
9	4	金	八本松市民センター
	11	金	海岸公園冒険広場
	18	金	杜の広場公園
	25	金	やまいちサステナパーク七北田公園
10	2	金	榴岡公園
	9	金	幸町市民センター
	23	金	やまいちサステナパーク七北田公園
11	13	金	高森市民センター

	27	金	西公園
12	4	金	大沢市民センター
	11	金	海岸公園冒険広場
	18	金	鶴ヶ谷市民センター
1	8	金	榴岡公園
	15	金	南光台市民センター
	22	金	やまいちサステナパーク七北田公園
2	26	金	錦町公園
3	12	金	海岸公園冒険広場

※仙台市内を中心に上記を含めて年間 60 回出勤。上記以外の出動先は随時公募等により決定する。

③臨時移動観望会

定期移動観望会では出勤できない依頼先で移動天文車ベガ号を用いて観望会を実施する。

④依頼観望会の他団体へのオファー

移動天文車による観望会開催予定団体以外からの観望会開催依頼があった場合には、依頼先の了解を得たうえで他団体への紹介を行う。

5-5 大学・関係機関連携業務

(1) 業務目的

- 天文や様々な専門分野と連携することにより、市民の星や宇宙への興味関心を高める。
- 最新の天文学の情報を分かりやすく提供することにより、市民の天文知識の理解を深める。

(2) 業務内容

①大学・研究機関との連携

地域の大学や研究機関等と連携し、天文やその他の様々な専門分野の切り口からの話題提供により、市民の星や宇宙への興味関心を高めるとともに、最新の天文学の情報を分かりやすく提供する。

<大学・研究機関との連携>

月	日	曜	タイトル	内容
9	27	日	スペースラボ① 講師：内山哲治	宮城教育大学と仙台市天文台が共同で開催する体験型科学実験教室。全 2 回を予定。 時間：13:00-15:30 定員：20 名 対象：小学校 5・6 年生，中学生
11	15	日	スペースラボ② 講師：笠井香代子	
10	3	土	スペースラボスペシャル 講師：高田淑子	宮城教育大学付属特別支援学校の生徒を対象とした講座を予定(貸館的利用)。

②社会教育施設との連携

地域の社会教育施設と連携し、様々な切り口から星や宇宙への興味関心を高める。

○野草園

<野草園とのコラボ企画>

月	日	曜	タイトル	内容
	7/1 － 8/2		野草園×天文台コラボ企画展	プレショーギャラリーでの仙台市野草園と天文台による「銀河鉄道の夜」をテーマとした企画展。
8	2	日	野草園×天文台コラボワークショップ「クラフトづくり」	野草園ならではの自然に親しめるワークショップ。
8	27	木	星空を楽しむ会 ベガ号での天体観望会と芝生広場での観望会	仙台市野草園夜間開園イベントに伴う天体観望会。

③ブレインサポーター運営・管理

天文台の運営等についてアドバイスをいただける方を年度ごとに委嘱し、活動をしていただく。年に1回、天文台長名で委嘱する。

○ブレインサポーター集会の実施

ブレインサポーター一覧 ※2025年2月現在			
NO	氏名	所属	委嘱分野
1	市川 隆	東北大学 名誉教授	天文学
2	伊藤 芳春	元聖和学園高等学校 副校長	観測
3	井上 邦雄	東北大学コトリノ科学研究センター センター長、教授	物理学
4	井龍 康文	東北大学変動海洋エコシステム高等研究所 教授	地球科学
5	大谷 栄治	東北大学 名誉教授	地球惑星科学
6	黒須 潔	天文郷土史研究家	仙台藩の天文学史
7	高田 淑子	宮城教育大学教育学部理科教育講座 教授	天文教育普及
8	千葉 柁司	東北大学大学院理学研究科 教授	天文学
9	長島 康雄	東北学院大学文学部教育学科 教授	天文教育普及
10	福島 邦幸	元宮城教育大学 教育支援コーディネーター	天文台学習
11	星野 誠	東北放送株式会社 TBC 気象台 気象予報士	気象学・広報
12	吉田 和哉	東北大学大学院工学研究科 教授	宇宙工学

④トワイライトサロン

土曜日の夜の賑わいを創出し、市民へ最新の天文学の情報を提供する。

⑤講座・講演会

天文学の啓蒙普及を図るための各種講座や講演会等を企画し、実施する。

<講座・講演会>

月	日	曜	タイトル	内容
4	18	土	アースデイ講演会	4月22日のアースデイに合わせた講演会。ブレインサポーターの井龍康文氏を講師に招く。
7	5	日	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座 2026年度第1回	東北大学大学院理学研究科天文学専攻の深川美里教授による、小惑星や隕石についての講演会
2	20	土	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座 2026年度第2回	東北大学大学院理学研究科地学専攻の中嶋大輔講師による、系外惑星や惑星系形成についての講演会
3	7 8	日 月	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座 2026年度第3回	高校生対象の研究(データ解析・発表)を体験する講座。

⑥全国連携イベント

全国の社会教育施設と連携し、宇宙関連イベントを実施することにより市民が宇宙に興味を持つ機会を増やす。

- ・科学技術週間(4月18日-24日)関連イベント（一家に一枚ポスター配布，アースデイ講演会）

5-6 天文情報提供業務

(1) 業務目的

- 時宜をとらえた天文事象の資料や情報を提供する
- 最新の天文学の情報を分かりやすく提供する
- 市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う

(2) 業務内容

①天文相談

市民からの天文や宇宙に関する質問や相談に対して、台内だけではなく電話やウェブサイト、郵送、FAXなどでも対応し相談者の立場に立った回答を行う。

- ・7月 夏休み自由研究コーナー開設

②天文情報の掲示

以下の要領で天文情報を掲示する。

○ひとみ望遠鏡ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡について紹介するパネルや撮影された画像を公開する。

○観望待機室ギャラリー展示

観望会中に待機しているお客様に対する情報提供として、季節毎の主な観望天体を掲示する。

○観測ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡での観測の成果の公開として、学会等での発表に使用したポスターを掲示する。

③天文情報の発信

仙台近郊で見られる天文現象を、各種媒体を通して発信する。なお、主な発信媒体はウェブサイトと X とする。更に現象によってそれ以外の媒体でも発信する。

月	提供内容
5	最小の満月
6	金星と木星の接近
8	ペルセウス座流星群極大(条件:良)
	伝統的七夕
9	中秋の名月
	金星最大高度 (-4.8 等)
10	後の月
	センダイヘンジ
11	プレアデス星団食
	金星最大光度 (-4.9 等)
12	ふたご座流星群極大(条件:良)
	最大の満月
1	2026 年天文現象一覧
	しぶんぎ座流星群極大(条件:悪)
2	センダイヘンジ
	火星最接近 (小接近)
随時	各月の天文現象(毎月 1 日)
	月の満ち欠け
	二十四節季
	月と惑星の接近
	水星・金星最大離角
	ISS の通過予報
その他	かんむり座 T 星 新星爆発
	星図カレンダー
	惑星の見ごろ

④望遠鏡相談

市民の望遠鏡に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う。また、市民の望遠鏡購入の要望にも応える。

6 資料収集業務

(1) 概要

- 博物館として、世間から注目された天体や天文学的に貴重な現象を記録する。
- 博物館として、記録した天体や現象を発信・説明する。

(2) 業務内容

①資料収集

年間計画を作成し、天文現象、惑星などの資料収集を行う。また、火球や彗星の出現などの突発的な現象も記録する。収集した資料は長期的な利用を見据えて保存すると同時に、ウェブサイト等で公開する。

月	日	撮影・収集予定の天体・現象
5	31	最小の満月
8	12	ペルセウス座流星群
9	25	中秋の名月
10	23	後の月
秋ごろ		冥王星
12	14	ふたご座流星群
12	24	最大の満月
1-3		火星
各季節		各季節の星空
随時		太陽黒点（撮影、スケッチ）
		太陽フレア
		低緯度オーロラ
		彗星
		恒星・惑星・メシエ天体

②観測データ整理保管・天体画像整理保管

天文台で取得した観測データや天体画像を整理保管し、財産となる資料を損失、状態悪化させないようにする。

③図書・メディア管理

業務を円滑に行うため、天文台で購入した天文図書・メディア資料の管理を行う。

7 メディア制作業務

(1) 業務目的

本施設のビジュアルアイデンティティに基づき各業務で発生する制作物を円滑に制作する。

(2) 業務内容

①館内ディスプレイ制作

季節行事や天文に関するディスプレイを制作する。

②広報，配布物制作

天文台が主催する事業や投映するプラネタリウム番組のポスターやちらしを制作する。

③展示物制作

展示室や各種ギャラリー，企画展等の展示物の制作を行う。

④Web・SNS 素材制作

イベントや天文現象に応じて，ウェブサイトや SNS に掲載するバナーや画像，動画を適宜制作する。

⑤プラネタリウムコンテンツ制作

プラネタリウムのプログラム制作，作画，動画制作，音響制作，番組据付を行う。

⑥VI 制作

ブランドデザインガイドに基づき VI を制作する。

⑦館内表示制作

案内看板等の掲示物を作成する。

⑧グッズ制作

仙台市天文台のオリジナルグッズを制作する。

8 広報業務

(1) 業務目的

本施設の業務内容や利用方法を広報・周知することにより，本施設の利用促進及びアイデンティティの浸透を図る。

(2) 業務内容

①イベント情報提供

○施設アイデンティティに則した季刊誌「ソラリスト」に情報を掲載し，館内及び市内外に配布する。

○ウェブサイトや市の広報誌に情報を掲載するとともに，地元の情報誌等にも情報を提供する。

○注目度の高い天文現象やイベントについてはプレスリリースを行い，地元テレビ番組やラジオ等に出演し，告知を行う。

②広報物制作・管理

○本施設の事業や利用方法を周知するために，季刊誌「ソラリスト」や各イベント等のちらし，リーフレットを制作し，web 展開および配布を行う。

○リーフレットはウェブサイトや SNS 等の二次元コードを掲載してより施設情報等にアクセスしやすいように改訂を行う。

○制作した広報物は，より効果的な場所へ配布するとともに web 展開にて多数の市民への拡散を図る。

<ソラリスト>

・6月 夏号発行

- ・ 9 月 秋号発行
- ・ 12 月 冬号発行
- ・ 3 月 春号発行

③ウェブサイト・SNS 運用

- 注目度の高い天文現象や最新の天文情報，施設情報等は天文台ウェブサイトに公開し，タイムリーな情報提供を行う。
- 更新した情報は，X や Facebook などの SNS を用いて適時情報を発信する。

④SMMA 対応

- 仙台市内の文化施設が所属している仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）に継続して登録する。
- 事務局が制作する広報物への情報提供等を行う。

⑤取材対応

- 各種広報物の配布やウェブサイトを活用したイベント告知，プレスリリース等を行う。

⑥視察対応

- 他施設からの視察を受け入れ，施設案内やプラネタリウム紹介，運営方針などの説明を行う。

⑦記録

- 広報活動及び天文台利用促進事業で活用するため，各種イベントの様子を写真や動画で撮影する。
- 撮影したデータは事業ごとに分類し，取材時や資料提供依頼時にすぐ提供できるよう整理・保管する。
- 新聞や雑誌などの記事をまとめたスクラップファイルを作成する。

⑧年報作成

- 年度毎に活動の報告を年報にて行う。

9 窓口業務

(1) 業務目的

- 来館者の施設利用が円滑に行われるよう，各種案内や対応を行う。

(2) 業務内容

①総合案内

- 施設の基本情報やスケジュール，イベント等を来館者へ分かりやすく案内する。
- 来館者とのコミュニケーションを大切に，来館者のニーズに合わせた案内を行う。

②放送案内

- プラネタリウムの入場開始やイベント開催等を告知する放送案内を実施する。

③団体利用受付

- 団体での利用希望者を対象に，予約を受け付ける。
- 予約受付簿とアクセス予約システムを併用し，的確な予約受付に努める。
- 予約団体には予約確認書を送付し，予約内容を相互に確認する。

④一般団体受入れ

団体利用者の円滑な案内を目的に、受入れ業務を行う。

○団体人数や館内状況を把握し、安全に配慮した団体受入れを行う。

○団体ごとの希望等を把握し、可能な限り対応する。

○配慮が必要な団体や個人には、先方の申し出に沿って可能な限り合理的配慮を行う。

⑤入場管理

観覧料の徴収、チケットの発券、チケットの確認を適切に行う。

⑥拾得物・迷子の対応

拾得物及び迷子への対応を行う。

○拾得物・迷子発生時は放送案内による呼び出しを行う。

○拾得物発生時にはフローに沿って対処する。

○拾得物の管理を行い、定期的に交番へ届け出る。

⑦急病人対応

急病人が発生した場合の一次対応を行う。

○急病人は救護室に案内し、必要に応じて応急処置や医療機関の案内を行う。

10 管理業務

(1) 業務目的

運営業務及び管理業務を円滑に行うために、各種事務及び経理を的確に行う。

(2) 業務内容

①入館者・参加者集計

入館者数及び各種事業の参加者数を正確に把握し、各種文書・報告書に反映させる。また、統計的な処理も行う。

②観覧料・使用料徴収および納付(金券、減免を含む)

正確に徴収し、速やかに納入する。

③ファンサポーター運営・管理

天文台のにぎわい創出を支援するお客様を募り、その管理と運用を行う。

④年間パスポート運営・管理

年間パスポートの発行及び観覧料の徴収、個人情報の管理を行う。

⑤業務日誌作成

後日の参考になるよう作成する。お客様からのご意見等も記録する。

⑥備品管理(備品台帳)

年1回、棚卸を実施する。

⑦物品管理

常に在庫を確認し、適宜補充する。

⑧文書発送・収受・管理

文書の発送・収受の履歴を残す。収受文書・資料の整理を行う。

⑨自販機管理、調整

売上確認、納品業者との連絡(品切れ・故障)をする。

⑩売店収支報告書作成

年度末に仙台市に滞りなく報告する。

⑪職員の福利厚生（社員旅行・懇親会等）

コミュニケーションを大切にした行事の企画と懇親会の運営。

⑫得意先対応（カレンダー、寄付等）

得意先（団体・個人）に、カレンダーを送付する。また、寄付等の申し出に対応する。

○カレンダー送付は年に1回。寄付への対応は適宜行う。

⑬諸室管理

○予約が必要な学習室・会議室・加藤小坂ホールの利用調整、及び実験室の利用調整

○救護室の衛生消耗品の補充

○スタッフルーム・印刷室・資料室の整理整頓

11 修繕一次対応業務

(1) 業務目的

来館者の利用に支障が無いよう、各設備担当企業と不具合状況を共有し、施設・設備の不具合に対処する。

(2) 業務内容

不具合事象は台内不具合対応フローに沿って対処する。

下記項目の不具合時の対応研修を実施する。

①情報システム不具合の対応

○情報機器端末、ネットワーク接続機器の管理

○情報機器更改対応

②展示室不具合の対応

○照明機器のランプ交換(随時)、月度修繕作業依頼(毎月)

③汎用望遠鏡不具合の対応

○貸出時の点検(随時)、修理対応(随時)

④移動天文車の保全

○日常点検出勤時(毎回)、定期保守点検(年2回)

⑤プラネタリウム不具合の対応

○日常点検(開館日毎日)、定期保守点検(年4回)

12 維持管理業務

(1) 目的

市民の公共施設として、健全で安全な施設環境を提供し、賑わいの空間を維持し続ける。

天文台の特殊性にあわせた維持管理計画を立案し、維持管理と運営の専門企業が一体となった事業運営を進め、単に施設を維持するだけでなく、ファシリティマネジメントによる効率的な施設管理業務を実現する。

(2) 業務内容

①清掃

本施設における公共サービスが円滑に提供され、来館者が快適に施設を利用できるよう建物及び敷地内を美しく清潔に保つ。

○引き続き清潔な環境を保持し、快適な環境づくりを行う。

②警備

施設内の秩序、規律を維持し、盗難、破壊等の犯罪および火災などの災害の発生を警戒・防止することにより、財産の保全を図るとともに来館者および職員の安全を守る。

○引き続き日常業務の徹底を図り、事故・トラブルの発生を未然に防止する。

③駐車場管理運営

車両により来館した利用者が円滑に、かつ安全に車両を移動し駐車できるように、施設敷地内における車両の案内、誘導を実施する。(詳細は、8-4 警備・駐車場管理計画による)

○平日は、天文台学習の送迎用及び駐車の大形バス、年末年始、大型連休、催事開催日等は一般車両の混雑が予想され、適切な車両誘導が不可欠となる。混雑時の対応については、大形バスの駐車及び送迎車両台数、路線バスの時刻等を加味して混雑状況を可視化した資料等を作成した上で、人員を増員する等の措置を講じ、適正な誘導を行う。

④建築物保守管理

施設整備要求水準書で想定される施設の性能を維持するよう、建築物各所の点検・保守・補修を実施する。又、敷地内の植栽帯を美観に配慮し維持する。特に「ひとにやさしいまちづくり」条例を考慮に入れて、施設の用途・目的にふさわしい維持方法とする。

○日常・定期保守点検により施設の劣化による破損・汚染の早期発見に努める。

○劣化等の早期発見に努め適宜補修・改修を行う。

⑤植栽維持管理

敷地内の植栽帯を美観に配慮し維持するため、建物の周囲の植栽及び緑化施設の除草・灌水・施肥・台風対策や樹木の剪定・病虫害機所等を実施する。

○引き続き清潔な環境を保持し、快適な環境づくりを行う。

⑥建築設備保守管理

電気設備、機械設備、監視制御設備等について、各施設、部屋の用途、気候の変化、利用者の快適性、省エネルギー性等を考慮に入れて、適正な方法によって効率よく運転・監視する。常に正常な状態を維持できるよう法定点検、定期点検を行い、設備が正常に機能しないことが明らかになった場合は、補修、交

換，分解整備他適切な方法により迅速に対応する。また，劣化について調査を行い適切な方法により対応する。

⑦備品等保守管理

本施設に設置される備品等について点検保守を実施する。

⑧特殊機材保守管理

望遠鏡等(ドーム含む)の特殊機器については開館時間中常時使用する機材であり，そのため不具合発生による支障の大きいことから，常に正常に作動するよう保守管理業務を行うものとする。

○緊急時・故障時のかけつけを速やかに行い，原因追求，対策を迅速に行い，適切な措置と，故障トラブル復旧に努める。

13 ヘルプデスク業務

(1) 目的

○事業者による業務実施に関連し，業績監視および仙台市からの業務依頼事項処理の窓口としての業務を行う。

- ・本施設の維持管理及び運営の管理に関する総括を行い，管理運営状況を定期的に仙台市へ報告する。
- ・不具合発生時の受付窓口として迅速かつ適切に対応し，復旧の確認をする。
- ・その他，円滑な事業運営に対して柔軟に各種サポートを行う。
- ・リスクマネジメントを総括し，本施設に関連する各種災害リスクの低減に務める。

(2) 業務内容

①日常・月次・年次モニタリング業務

事業者の提供するサービスが，常に要求水準を満たしていることを確認する。

- 日常・月次・年次のセルフモニタリングにて，要求水準達成状況を仙台市へ報告する。
- 事業計画の取り纏め及び提出(中長期事業計画)
- 指定管理者協定に基づく事業報告書の提出(年報)
- 指定管理者評価，管理業務の実施状況報告
- 各種契約保険証券の更改管理
- 事業契約書等に定める報告物の提出
- 台長補佐

②不具合発生，復旧対応経過に関する報告業務

- 事業契約書 別紙 10 に基づく各室の改善までの対応時間，減額対象時間の管理と不具合改善の進捗管理(不具合対応処理報告書により報告)
- 要点検一覧での修繕必要箇所の管理とその手配
- 建物重点点検補修状況確認及び検収

③円滑な業務運営に対するサポート及び連絡窓口業務

- プロマネとの連携により，来館者のニーズを把握し，次年度の事業計画に反映する。

○関係当局，構成企業等との窓口業務(仙台市，警察，消防，近隣自治会，構成企業等)

④業務フロー，対応方法の調整

○課題の解決と情報の共有化(SPC 部会，SPC 調整会議，ガバナンス会議等)

○台内での安全管理体制を厳守する。

○トラブル対応フローや設備トラブル連絡先等を現状に即すよう更新し周知を図る。

○災害発生時の対応及び体制を整備し台内職員及び来館者の安全を守る。

(反復訓練実施による行動の体得，その結果のレビュー)

以上